

# 2021年8月期 決算説明資料

---

 **日創プロニティ**  
(証券コード：3440)

---

# 目次

## INDEX

- 1 2021年8月期決算概況
- 2 2022年8月期業績見通し
- 3 前中期経営計画の総括
- 4 新中期経営計画の策定
- 5 配当方針
- 6 会社概要

# 2021年8月期 決算概況

# 2021年8月期決算サマリー

## 2021年8月期 連結業績

売上高は、前年同期比△10.2%  
営業利益は、前年同期比△38.8%で推移

売上高

**75億34**百万円

営業利益

**4億53**百万円

## 金属加工事業

売上高	セグメント利益
<b>52億93</b> 百万円 (△11.7%)	<b>4億99</b> 百万円 (△32.1%)

受注高	受注残高
<b>40億81</b> 百万円 (△31.5%)	<b>13億35</b> 百万円 (△46.6%)

## ゴム加工事業

売上高	セグメント利益
<b>10億92</b> 百万円 (△6.3%)	<b>2億17</b> 百万円 (+15.1%)

受注高	受注残高
<b>11億15</b> 百万円 (△3.5%)	<b>1億1</b> 百万円 (+29.5%)

## 建設事業

売上高	セグメント利益
<b>11億48</b> 百万円 (△6.4%)	<b>34</b> 百万円 (△71.6%)

受注高	受注残高
<b>8億74</b> 百万円 (+1.5%)	<b>1億63</b> 百万円 (△62.6%)

(カッコ内は前年同期比、△はマイナス) (セグメント利益の合計額と営業利益との差異△298百万円は主として各報告セグメントに配分していない全社費用)

# 2021年8月期業績ハイライト (連結・損益計算書)

(単位：百万円)

	2020.08期	2021.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	8,389	7,000	7,534	△ 855	△10.2%	+ 534	+7.6%
売上総利益	2,005	1,330	1,646	△ 358	△17.9%	+ 316	+23.8%
(売上総利益率)	(23.9%)	(19.0%)	(21.9%)	—	(△2.0P)	—	(+2.9P)
営業利益	741	160	453	△ 287	△38.8%	+ 293	+183.6%
(営業利益率)	(8.8%)	(2.3%)	(6.0%)	—	(△2.8P)	—	(+3.7P)
経常利益	758	230	528	△ 229	△30.3%	+ 298	+129.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	533	100	427	△ 106	△19.9%	+ 327	+327.1%
EBITDA (営業利益+減価償却費)	1,113	499	805	△ 307	△27.6%	+ 306	+61.3%

# 2021年8月期業績ハイライト (連結・損益計算書)

## 売上高

**7,534百万円 (前年同期比10.2%減)**

新規取引先の開拓や既存取引先のリピートに積極的に取り組みましたが、耐火パネル等の金属パネルの売上は伸長傾向であるものの、太陽電池アレイ支持架台の大型案件の受注が減少しており、売上高は7,534百万円(前年同期比10.2%減)。なお、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に起因する直接的な影響は軽微。

## 受注残高

**1,601百万円 (前年同期比46.9%減)**

金属加工事業は1,335百万円(前年同期比46.6%減)、ゴム加工事業は101百万円(同29.5%増)、建設事業は163百万円(同62.6%減)となり、合計1,601百万円で前年同期比46.9%の減少。

## 営業利益

**453百万円 (前年同期比38.8%減)**

売上高の減少に伴い、営業利益は453百万円(営業利益率6.0%・前年同期比2.8P減)。

## 当期純利益

**427百万円 (前年同期比19.9%減)**

# 2021年8月期業績ハイライト (連結・貸借対照表)

(単位：百万円)

	2020.08期	2021.08期	増減	主な要因
流動資産	9,142	8,656	△ 486	現金及び預金299M、 受取手形及び売掛金△454M、仕掛品△296M
固定資産	3,144	3,563	+ 419	建設仮勘定679M、 機械装置及び運搬具△176M
資産合計	12,287	12,220	△ 66	
流動負債	1,703	1,930	+ 226	流動負債のその他245M
固定負債	1,134	555	△ 578	長期借入金△192M、固定資産のその他△295M
負債合計	2,837	2,485	△ 352	
純資産合計	9,449	9,735	+ 285	利益剰余金266M
負債純資産合計	12,287	12,220	△ 66	
自己資本比率	76.3%	78.9%	+2.6P	

# 2021年8月期業績ハイライト (連結・セグメント)

(単位：百万円)

	2020.08期	2021.08期	前年同期比	
売上高	8,389 (構成比)	7,534 (構成比)	△ 855	△10.2%
金属加工事業	5,997 71.5%	5,293 70.3%	△ 704	△11.7%
ゴム加工事業	1,165 13.9%	1,092 14.5%	△ 72	△6.3%
建設事業	1,226 14.6%	1,148 15.2%	△ 77	△6.4%
セグメント利益	1,047 (構成比)	751 (構成比)	△ 295	△28.2%
金属加工事業	735 70.2%	499 66.4%	△ 236	△32.1%
ゴム加工事業	188 18.0%	217 28.9%	+ 28	+15.1%
建設事業	122 11.7%	34 4.5%	△ 87	△71.6%
調整額	△ 305	△ 298	+ 7	—
営業利益	741	453	△ 287	△38.8%

※セグメント利益の合計額と営業利益との差異△298百万円は主として各報告セグメントに配分していない全社費用

# 2021年8月期業績ハイライト (連結・セグメント)

## 金属加工事業

**5,293百万円 (前年同期比11.7%減)**

外装パネルの他、耐火パネル等の金属パネルの売上は伸長したものの、太陽電池アレイ支持架台の大型案件が減少したことにより、売上高は5,293百万円(前年同期比11.7%減)、セグメント利益は499百万円(同32.1%減)、当連結会計年度末における受注残高は1,335百万円(同46.6%減)

## ゴム加工事業

**1,092百万円 (前年同期比6.3%減)**

新規取引先の開拓が難しい状況の中、既存取引先のリピートに積極的に取り組んだことで、建設関連、土木関連、工業関連、自動車関連等の各種業界向けの製品は大きく落ち込むことなく推移し、売上高は1,092百万円(前年同期比6.3%減)、営業拠点の統合やコスト削減により、セグメント利益は217百万円(同15.1%増)、当連結会計年度末における受注残高は101百万円(同29.5%増)

## 建設事業

**1,148百万円 (前年同期比6.4%減)**

グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組み、一定案件の受注を確保しながらも、前年第1四半期に計上した大型案件の反動減や、材工一括案件が失注になったことが影響し、売上高は1,148百万円(前年同期比6.4%減)、セグメント利益は34百万円(同71.6%減)、当連結会計年度末における受注残高は163百万円(同62.6%減)

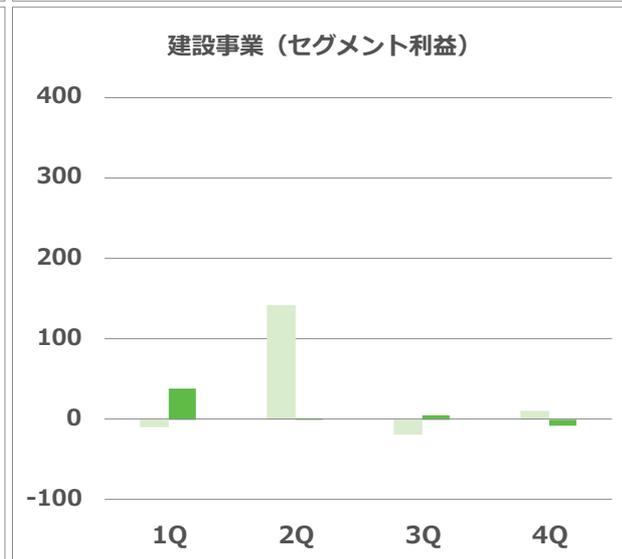
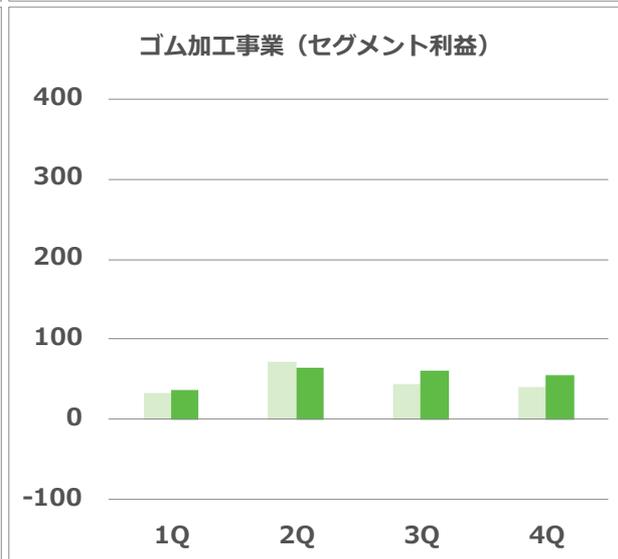
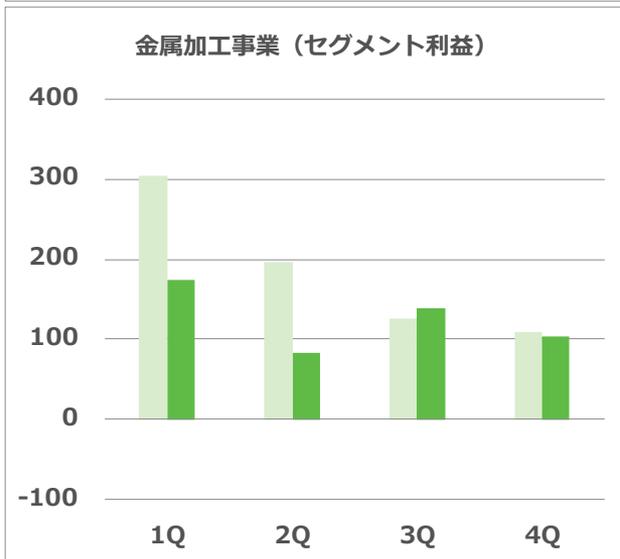
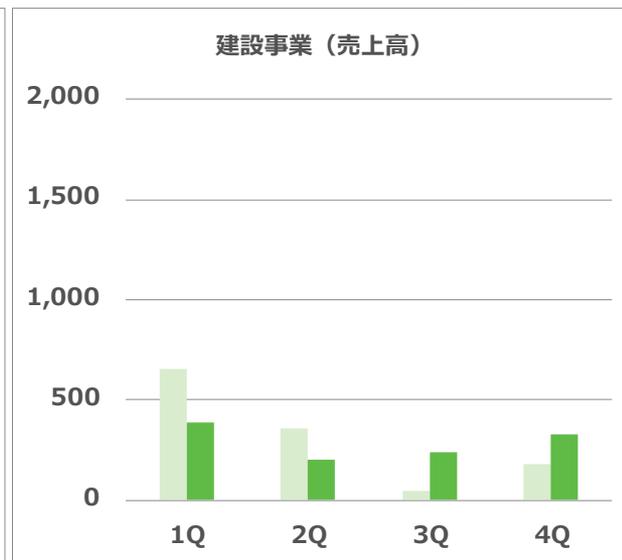
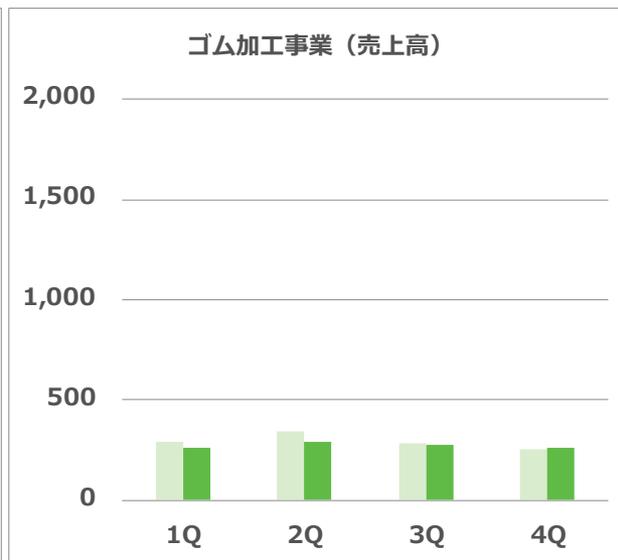
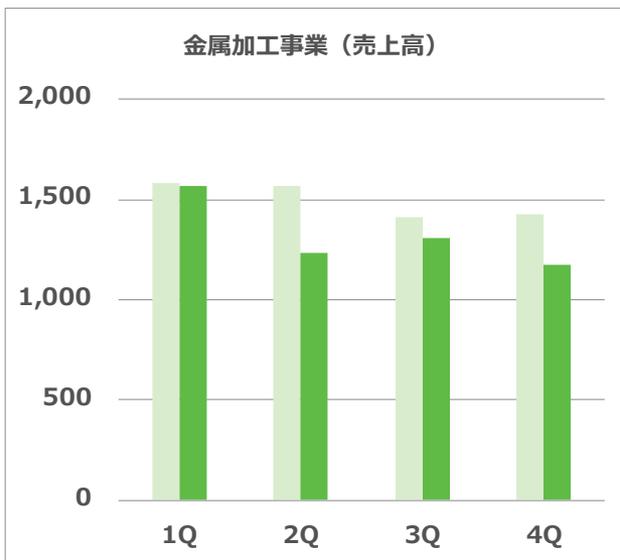
# セグメント（四半期）推移

(単位：百万円)

	1Q		2Q		3Q		4Q		通期	
	2020.08期	2021.08期								
売上高	2,523	2,214	2,270	1,730	1,735	1,824	1,860	1,764	8,389	7,534
金属加工事業	1,582	1,571	1,571	1,237	1,413	1,309	1,430	1,174	5,997	5,293
ゴム加工事業	289	259	341	293	279	277	254	261	1,165	1,092
建設事業	652	383	356	199	42	237	175	328	1,226	1,148
セグメント利益	326	247	408	147	151	205	160	151	1,047	751
金属加工事業	304	173	195	83	125	138	110	103	735	499
ゴム加工事業	32	35	71	64	45	61	39	56	188	217
建設事業	△ 9	37	140	0	△ 18	5	10	△ 8	122	34
調整額	△ 58	△ 82	△ 75	△ 72	△ 76	△ 71	△ 95	△ 72	△ 305	△ 298
営業利益	268	164	332	75	75	134	65	79	741	453
営業利益率	10.6%	7.4%	14.7%	4.4%	4.3%	7.4%	3.5%	4.5%	8.8%	6.0%

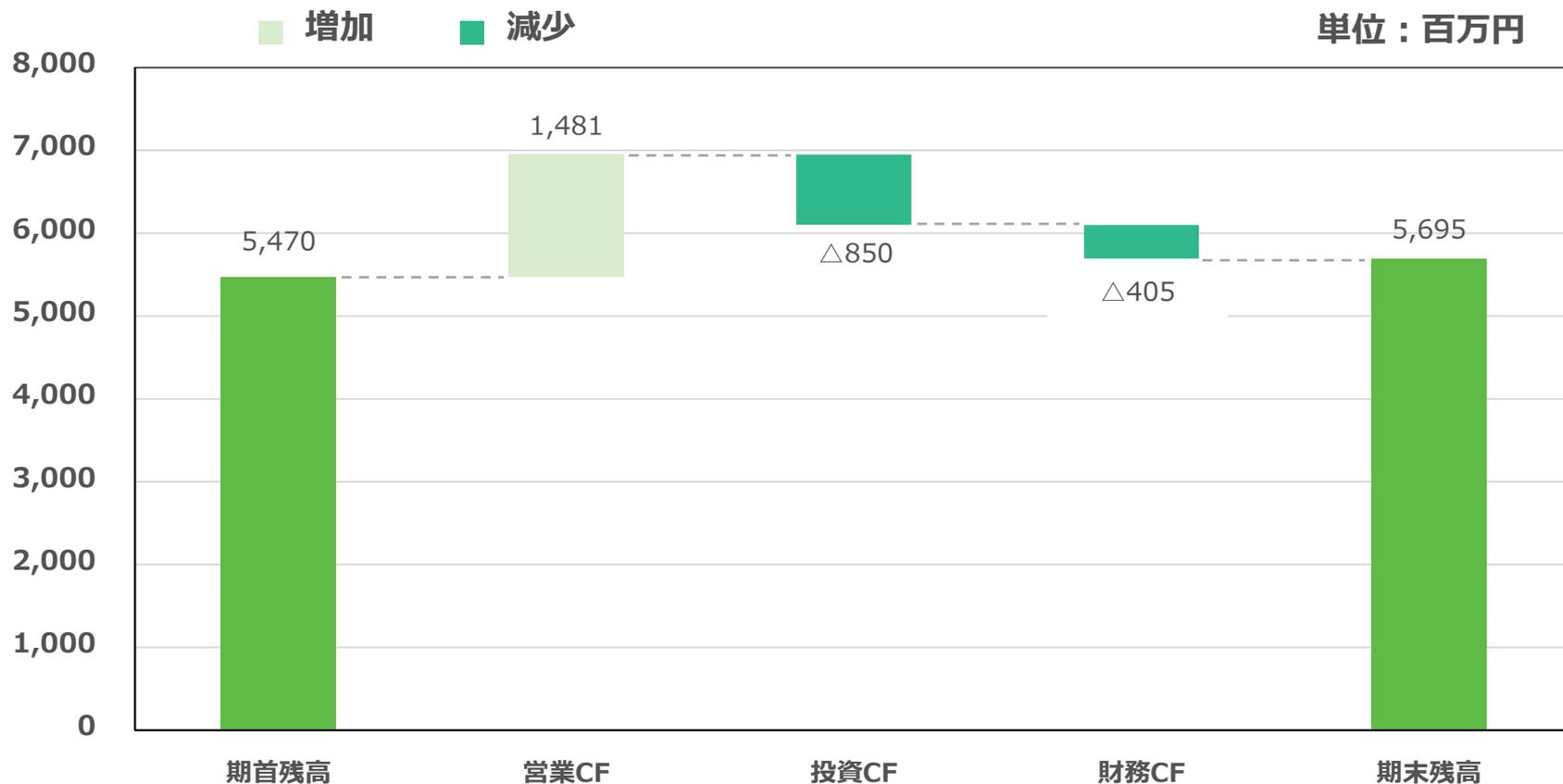
# セグメント（四半期）推移

(単位：百万円)



■ 2020年8月期 ■ 2021年8月期

# 2021年8月期業績ハイライト (連結・キャッシュフロー計算書)



## 営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益516  
 減価償却費352  
 売上債権の減少424  
 たな卸資産の減少367  
 法人税等の支払額△148

## 投資キャッシュフロー

有形固定資産の取得による支出△757

## 財務キャッシュフロー

長期借入金の返済による支出△208  
 配当金の支払額△160

# 2022年8月期 業績見通し

# 2022年8月期業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	2021.08期	2022.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	7,534	7,800	+ 265	+3.5%
金属加工事業	5,293	5,700	+ 406	+7.7%
ゴム加工事業	1,092	1,100	+ 7	+0.7%
建設事業	1,148	1,000	△ 148	△12.9%
売上総利益	1,646	1,860	+ 213	+13.0%
（売上総利益率）	(21.9%)	(23.8%)	—	(+2.0P)
営業利益	453	613	+ 159	+35.1%
（営業利益率）	(6.0%)	(7.9%)	—	(+1.8P)
経常利益	528	618	+ 89	+16.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	427	411	△ 16	△3.8%
EBITDA （営業利益 + 減価償却費）	805	1,027	+ 221	+27.5%

## 2022年8月期 業績見通し

**売上高7,800百万円**（前年同期比3.5%増）  
**営業利益613百万円**（同35.1%増）

- 金属加工事業における太陽電池アレイ支持架台の大型案件は減少するものの、福島工場に設備投資を行う耐火パネル等の金属パネルや形鋼加工製品は堅調に推移すると見込んでおり、売上高は7,800百万円（前年同期比3.5%増）。
- 営業利益は、増収に伴い、613百万円（同35.1%増）。営業利益率7.9%（前年同期比+1.8P）。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、411百万円（同3.8%減）。
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の当社グループ全体への影響については限定的で軽微。

# 前中期経営計画の総括

# 前中期経営計画の総括（M&Aの推進状況）

## 全体像

### 中期経営計画テーマ

## 成長加速

#### M&Aの推進

- ・ M&A・アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）
- ・ 3年間で上限50億円のM&A・アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

#### グループ経営基盤の強化

- ・ 成長に向けた経営基盤づくり

## M&Aの推進状況

### 第1次中期経営計画

（2016年8月期～2018年8月期）

「新たなステージへの挑戦」

情報入手	実行	投資金額
310件	3件	1,431百万円

2016年3月 吾婦ゴム工業  
2017年4月 綾目精機  
2018年3月 ダイリツ

### 第2次中期経営計画

（2019年8月期～2021年8月期）

「成長加速」

情報入手	最終検討	実行
333件	18件	0件

2019年7月  
東京証券取引所  
市場第二部への上場

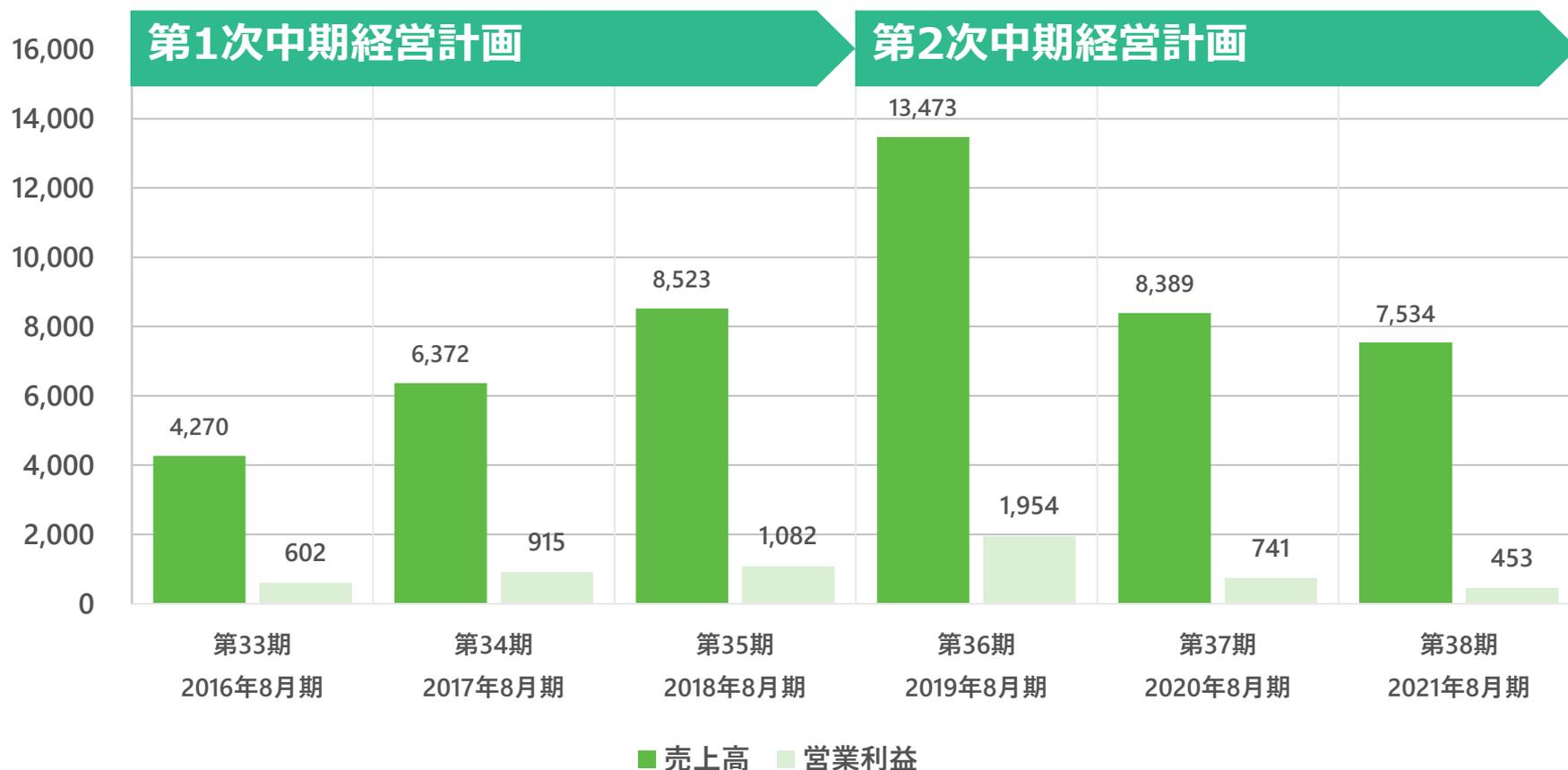
グループビジョン

加工の  
総合商社

- ・ 第1次中期経営計画に続き、戦略投資枠として設けたM&A投資枠50億円については、第2次中期経営計画においては、東証上場審査の関係や、当社投資基準に合致しなかったことにより、M&A実績ゼロ
- ・ 事業環境の変化を踏まえ、既存事業の強化、新製品・新規事業の開発推進を含めた成長投資の必要性について再確認し、新たな「チャレンジ」をしていく必要があると分析

# 前中期経営計画の総括（業績の推移）

単位：百万円



- ・2019年8月期は、太陽電池アレイ支持架台が好調に推移し、13,473百万円と過去最高の売上となったものの、2020年8月期以降は、太陽電池アレイ支持架台の受注が減少したことや、M&Aの実績が0件となったことが影響し、8,389百万円、7,534百万円と売上が減少。
- ・新型コロナウイルス感染症の広がりを考慮し、設備投資活動は抑制。

# 新中期経営計画の策定

# 当社グループが目指す将来展望

・当社は事業のコアとして「加工」を位置付けており、グループ経営理念「日々創造」、グループミッション「価値の創造」の下、事業領域の拡大を目指すべく、グループビジョンとして「加工の総合商社」を掲げております。

※当社では、「加工」とは「素材に付加価値を付けること」と定義しております。



# 第3次中期経営計画について

## 第3次中期経営計画テーマ

# “Challenge”

## 中期経営戦略（基本戦略）

### 成長への投資

- ・ 成長を加速させるため、資金を、M&A、設備、人材、新規事業へ重点的に投資

### 持続的成長に向けた 経営基盤づくり

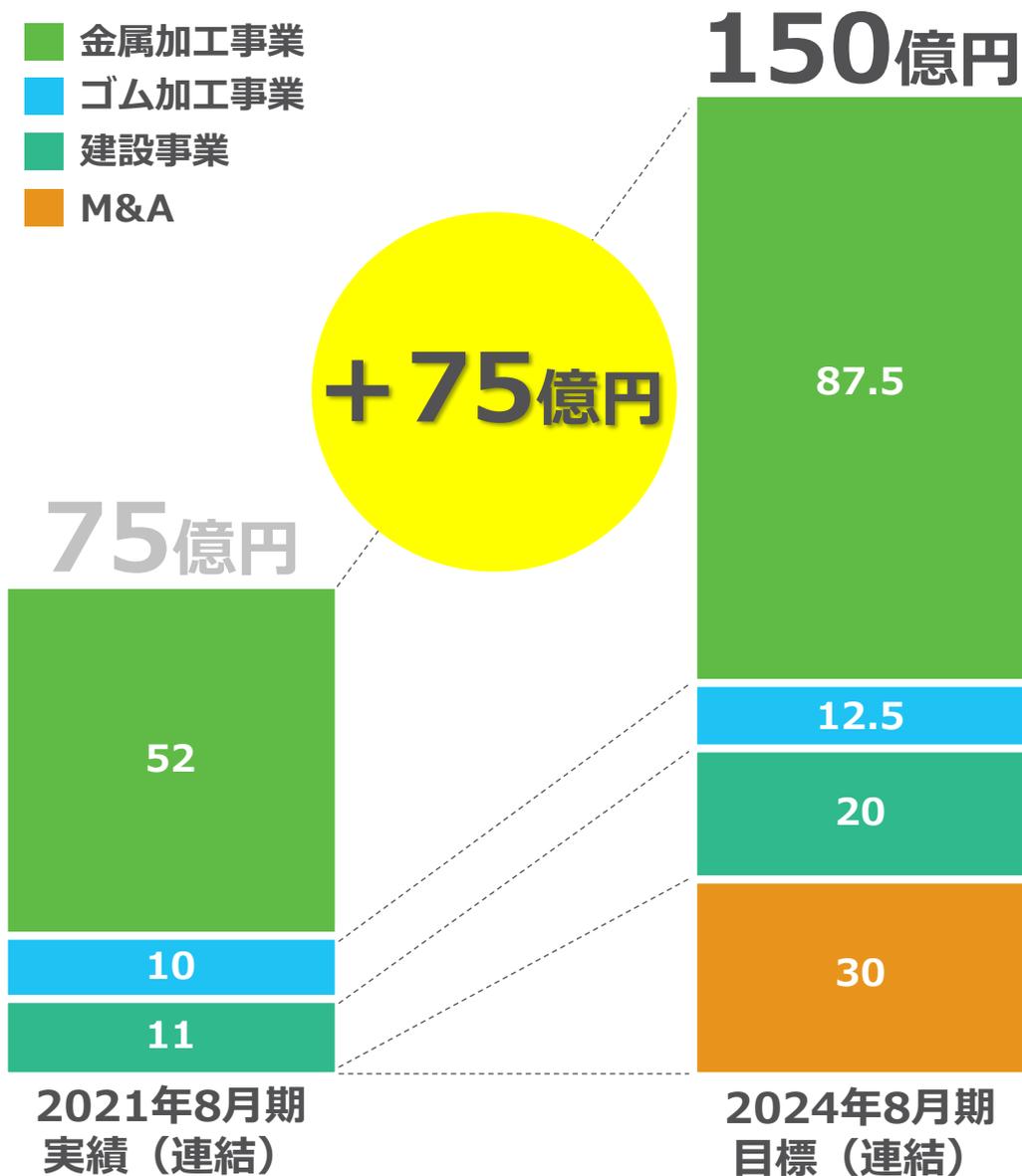
- ・ グループリスク管理の強化
- ・ コーポレートガバナンスコードへの対応
- ・ コンプライアンス経営の強化
- ・ 業務改善の推進
- ・ 製造原価削減の推進

## サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、  
社会的価値と経済的価値を満たしていく

# 第3次中期経営計画（定量的目標）

- 金属加工事業
- ゴム加工事業
- 建設事業
- M&A



**2024年8月期  
目標（連結）**

売上高

150億円

EBITDA

15億円

※EBITDA  
= 営業利益 + 減価償却費

**3か年の投資枠  
目標金額**

50億円

# 第3次中期経営計画（定量的目標）

## 金属加工事業

売上高

52.9億円 → **87.5億円** (+34.6億円)

- ・福島工場への設備投資により、金属パネル分野の製造・販売強化
- ・形鋼加工など、加工領域を拡大
- ・従来の再生可能エネルギー市場に加え、自家消費型市場を狙ったソリューション事業を展開

## ゴム加工事業

売上高

10.9億円 → **12.5億円** (+1.6億円)

- ・既存市場を維持しつつ、新規開拓を推進
- ・高収益体質を維持

## 建設事業

売上高

11.4億円 → **20億円** (+8.6億円)

- ・設備投資に伴う、金属パネル分野の材工一括受注を積極展開
- ・従来の再生可能エネルギー市場に加え、自家消費型市場へも材工一括提案を推進

## M&A

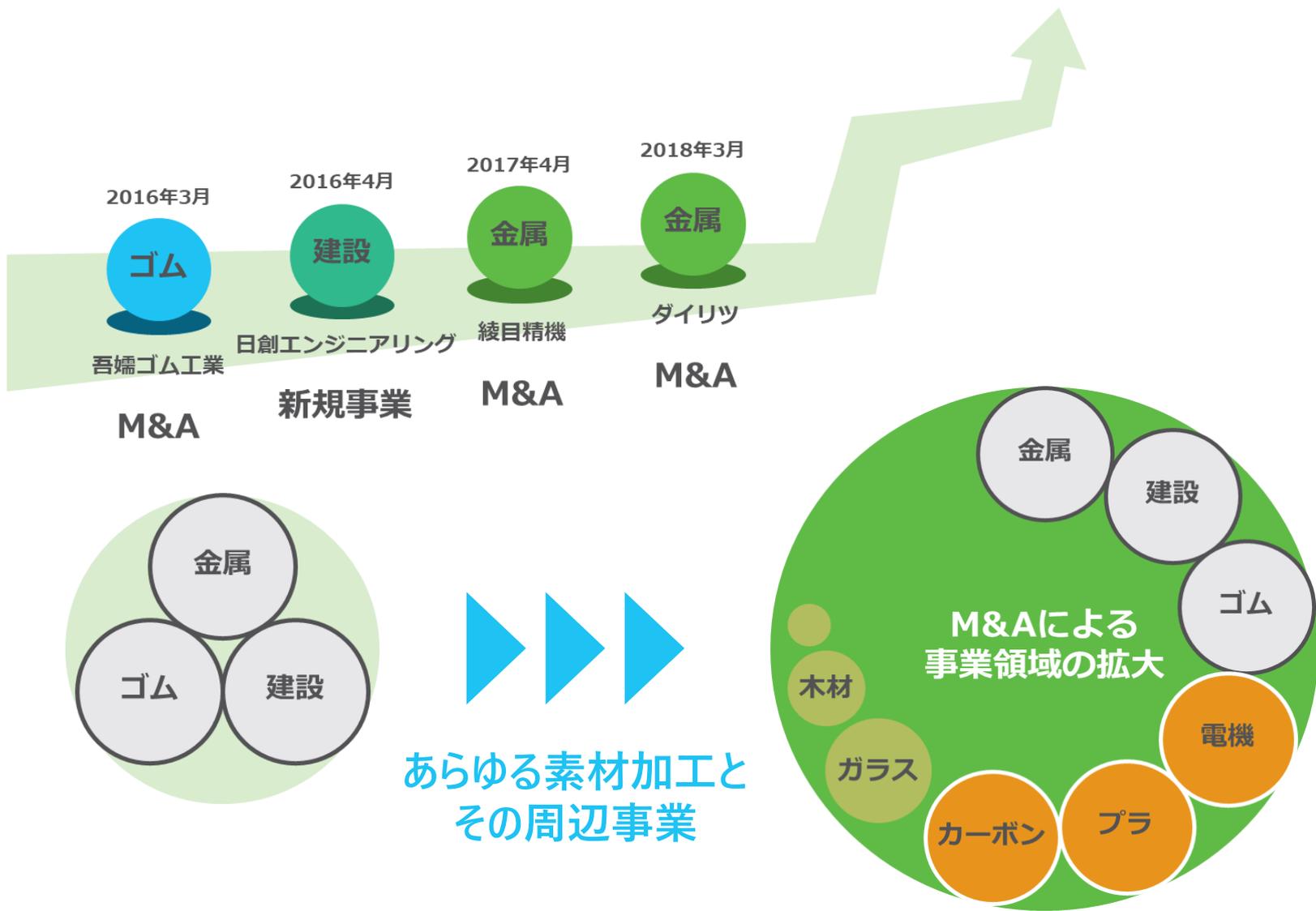
売上高

**30億円** (+30億円)

- ・積極的にM&Aを実施し、事業領域を拡大

# M&Aの推進方針

事業領域の拡大



# 設備投資計画（福島第2工場）

## 福島第2工場 完成予想イメージ



最大  
**20億円**  
投資予定

稼働予定  
**2022年4月**  
予定



現在稼働中の耐火パネル生産ライン

### 設備投資の主な内容

- ・新工場棟の新設
- ・耐火パネル生産ライン増設
- ・不燃断熱パネル生産ライン新設

# 設備投資計画（形鋼加工への進出）

既存加工分野（一例）

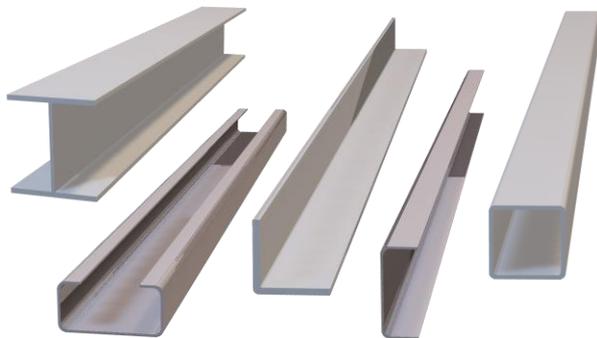


コイル鋼材（薄板）加工



出典：日創プロニティ会社紹介ビデオより

新しい加工分野



形鋼加工  
（H形鋼、C形鋼、L形鋼、  
溝形鋼、角パイプ等）



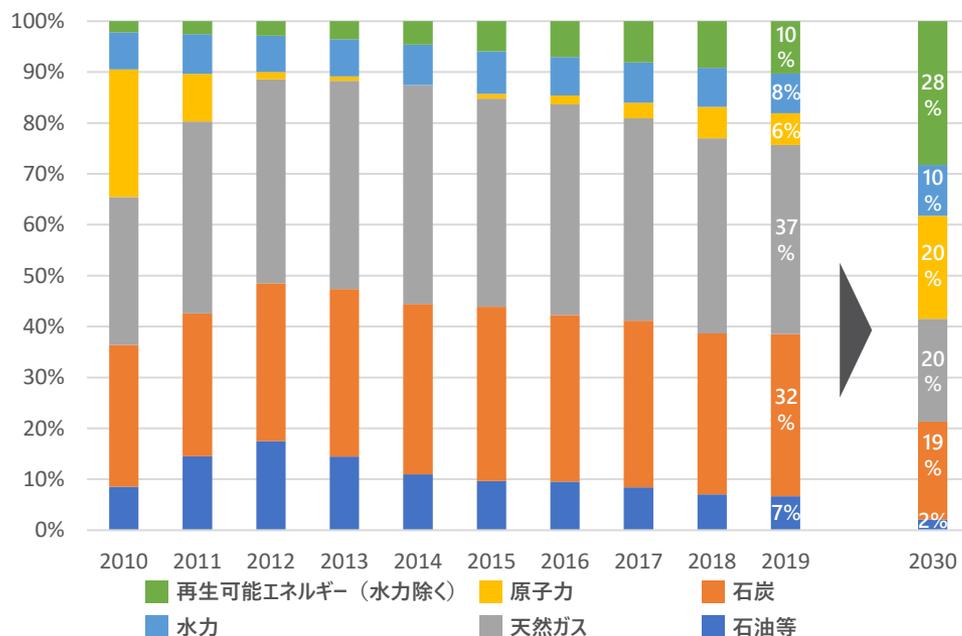
設備投資の実施  
2022年3～4月ごろ稼働予定



ヤマザキマザック製 FABRI GEAR 400Ⅲ

# 再生可能エネルギー ソリューション事業への挑戦

資源エネルギー庁「エネルギー基本計画（素案）」（2021年7月21日公表）によれば、2030年度電源構成のうち再エネ比率36～38%（内太陽光15%程度）と計画。2015年7月に公表された「長期エネルギー需給見通し」での目標値の再エネ比率22～24%（内太陽光7%程度）よりも上昇。



再エネ比率36～38%  
（内太陽光15%程度）

トレンドとして、大企業を中心に、RE100（※）への参加等、再エネへの関心が高まっている



※事業を100%再エネ電力で賄うことを目標とする企業連合のこと

出典：資源エネルギー庁資料「総合エネルギー統計」、「エネルギー基本計画（素案）」（2021年7月21日公表）より当社作成

## 再生可能エネルギーシステムのソリューション事業に注力

カーボンニュートラルを掲げる企業や地方自治体へ、従来の太陽光関連製品の提供に留まらず、**自家消費型**の再生可能エネルギーシステムのソリューション事業に取り組みます。

# 当社の配当方針

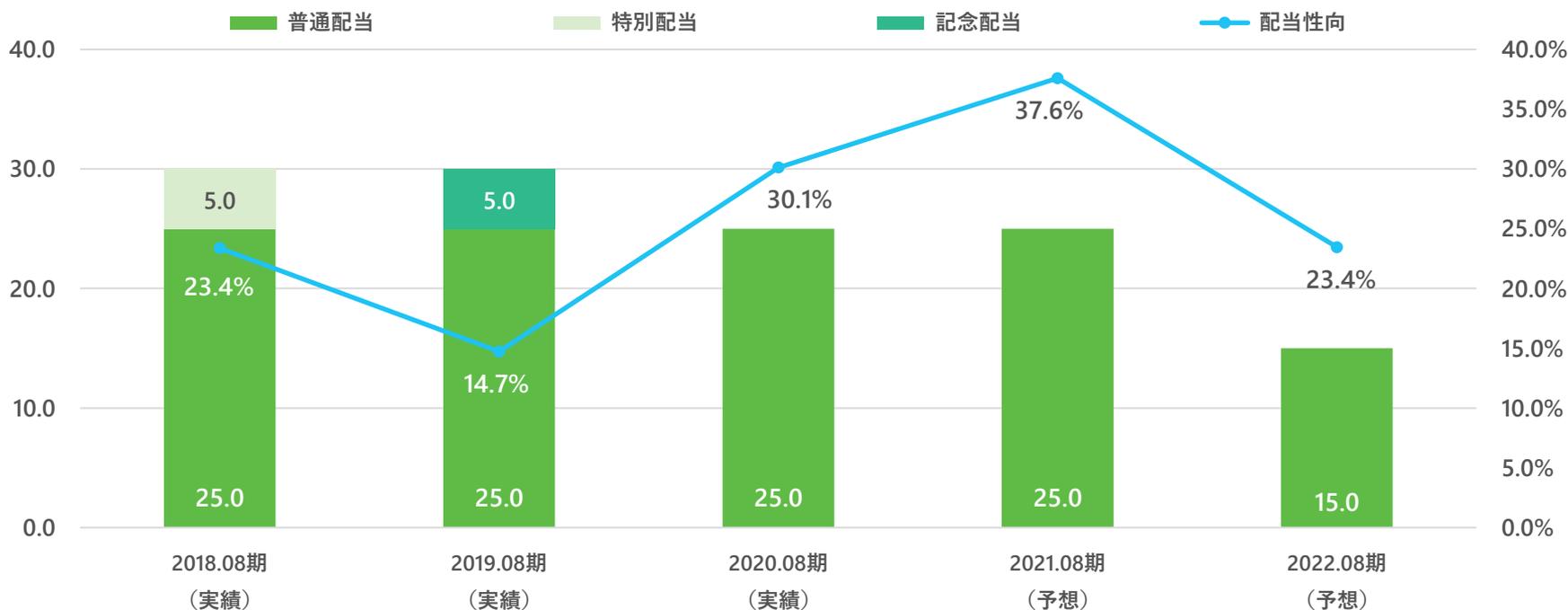
# 配当方針

(円、銭)

## 配当に対する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

	2018.08期 (実績)	2019.08期 (実績)	2020.08期 (実績)	2021.08期 (予想)	2022.08期 (予想)
記念配当	—	5.0	—	—	—
特別配当	5.0	—	—	—	—
普通配当	25.0	25.0	25.0	25.0	15.0
計	30.0	30.0	25.0	25.0	15.0
配当性向	23.4%	14.7%	30.1%	37.6%	23.4%



# 会社概要

# 会社概要・沿革

商号	日創プロニティ株式会社 (英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.)
本社	〒815-0035福岡県福岡市南区向野2-10-25
事業内容	金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
営業拠点	本社、東京営業所、福島営業所
製造拠点	山田工場（福岡県嘉麻市） 福島工場（福島県石川郡）
関連会社	吾婦ゴム工業株式会社（群馬県） 日創エンジニアリング株式会社（東京都） 綾目精機株式会社（広島県） 株式会社ダイリツ（愛知県）
代表者	代表取締役社長 石田 徹
設立	1983年9月
資本金	1,176百万円
市場区分	東京証券取引所市場第二部、福岡証券取引所
発行済株式数	7,360,000株
決算日	8月31日



1983年	9月	日創工業有限会社を設立 福岡県山田市（現福岡県嘉麻市）に山田工場を開設
1997年	9月	日創工業株式会社に組織変更 福岡県山田市（現福岡県嘉麻市）上山田へ山田工場を移転
2000年	12月	ISO9001認証取得
2007年	4月	日創プロニティ株式会社に商号変更
	8月	福岡証券取引所Q-Board市場に株式を上場
2011年	2月	東京営業所を開設
2014年	3月	福島工場を開設
	6月	福島営業所を開設
2016年	3月	吾婦ゴム工業株式会社と経営統合
	4月	日創エンジニアリング株式会社を設立
2017年	4月	綾目精機株式会社と経営統合
2018年	3月	株式会社ダイリツと経営統合
2019年	7月	東京証券取引所市場第二部へ上場 福岡証券取引所本則市場へ市場変更
2020年	1月	福岡市南区より同区内に本店所在地を移転

Processing = 加工

プロセッシング



Progress = 前進

プログレス

Infinity = 無限大

インフィニティ

## グループ経営理念 日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても「日々創造」する企業集団であり続けます。

経営理念のもと

## グループミッション 価値の創造

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し(事業の多角化)、新たな価値を創造していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

## グループビジョン 加工の総合商社

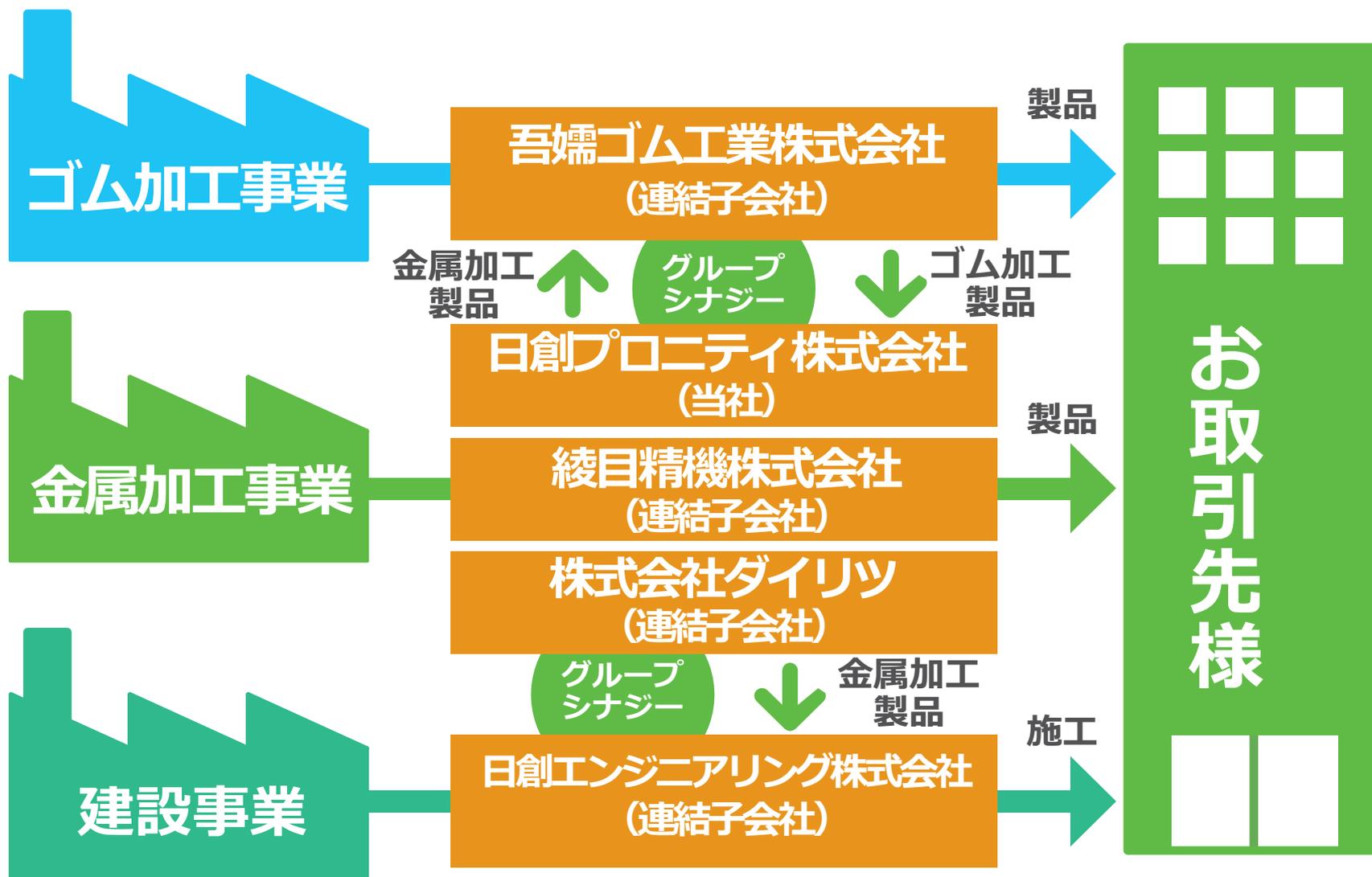
「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、エンドレスに挑戦を続けます。

※加工の総合商社：  
加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループ

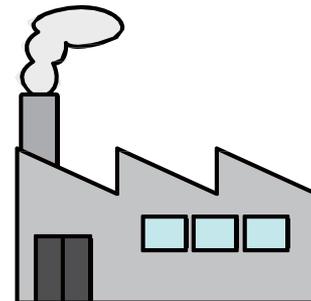
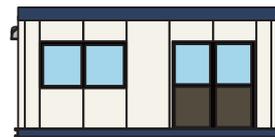
# 日創プロニティグループの拠点



# 事業セグメント



建築・建材 環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、  
仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な  
業界に向けて各種金属加工製品を提供。



## オーダー加工品

ユーザーからの多様な個別仕様の  
オーダーに基づく製品



①太陽電池アレイ支持架台



②太陽光発電搭載型カーポート



③レジストウォール(耐火パネル)

## 企画品

一定の規格に基づく  
量産可能品



④金属屋根材

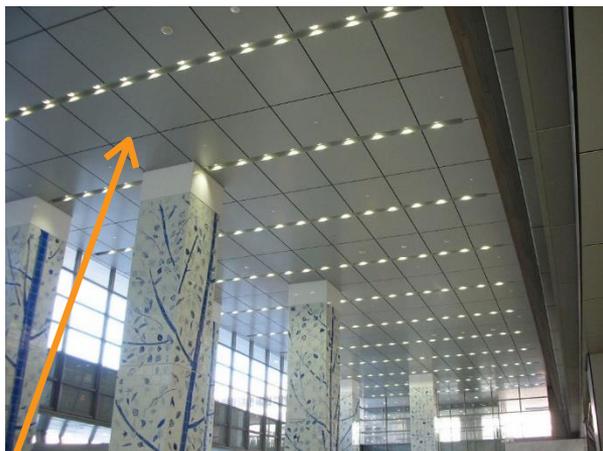


⑤金属壁材

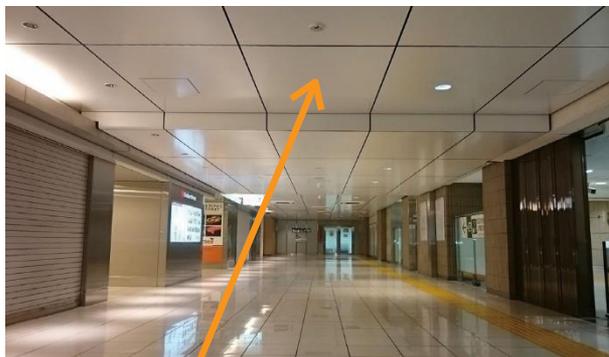
# 金属加工製品（納入実績例）



①アートパネル:外部天井パネル  
(JR博多駅)



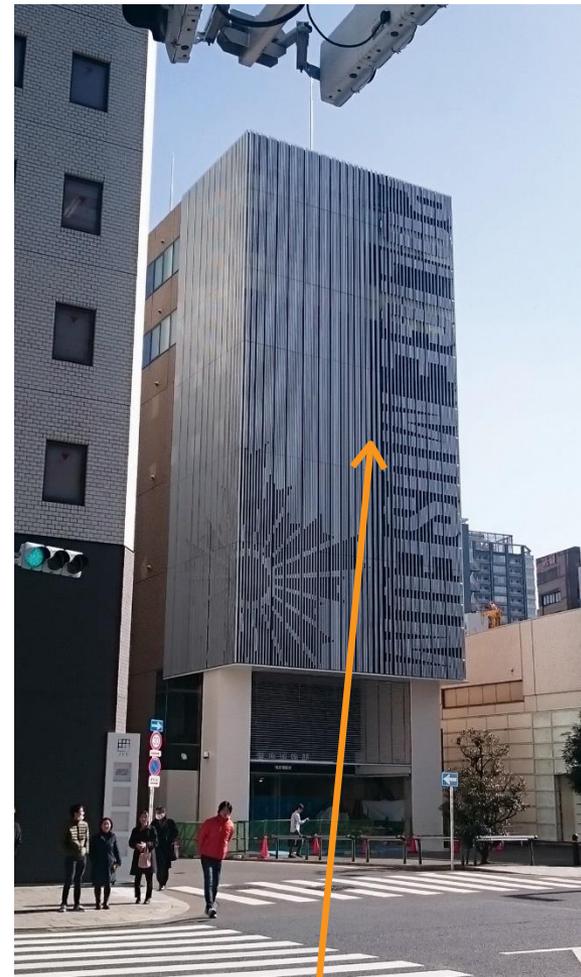
②天井パネル:内装化粧パネル  
(JR博多駅)



③天井パネル  
(JR東京駅キッチンストリート)



④外壁パネル  
(アルファロメオ店舗)



⑤デザインシェードウォール  
(ポリスミュージアム:東京銀座)

# 綾目精機株式会社

(2017年4月子会社化)

印刷機、農業用機械、  
医療機器、航空機等の部品など  
幅広い分野の多様な受注に対応。

素材の調達、切削、焼入れ、  
メッキ、組み立てまで一貫した  
加工を実現！

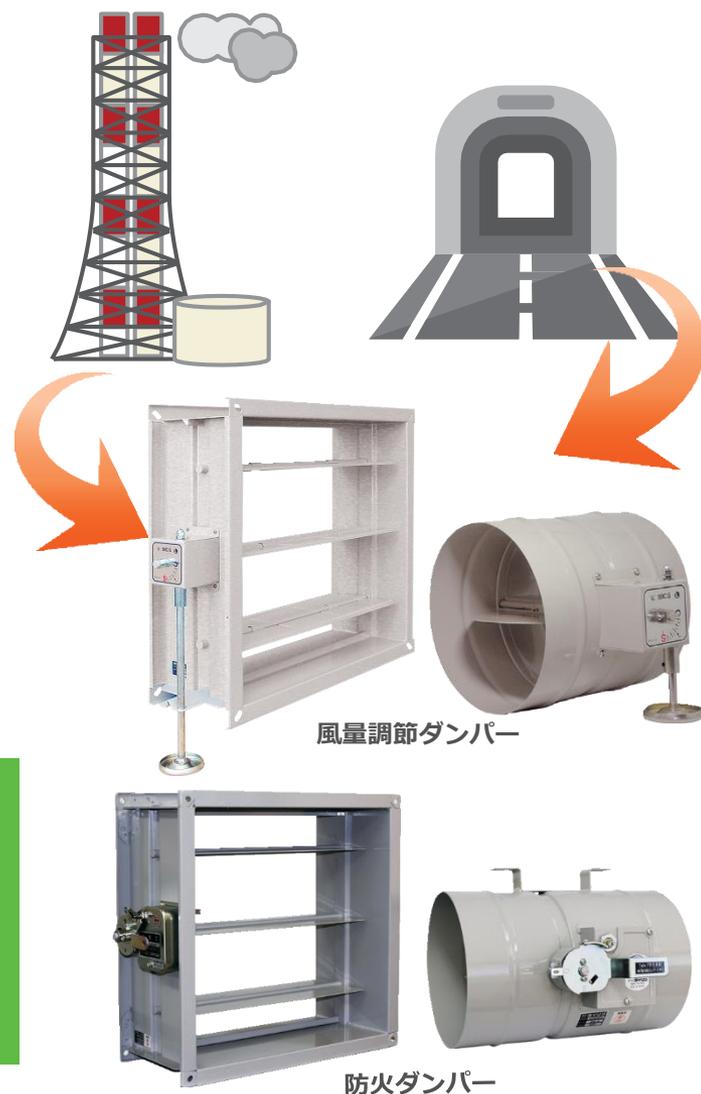


# 株式会社ダイリツ

(2018年3月子会社化)

自動制御・防火・防煙等の各種空調用ダンパーをメインに、制気口、フード等の製品を展開。  
各種プラント・発電所・トンネル等々、多様な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力し、業績も堅調に推移。

風量調節ダンパー、防火ダンパー  
など高精度なオーダーメイドダンパーが強み!

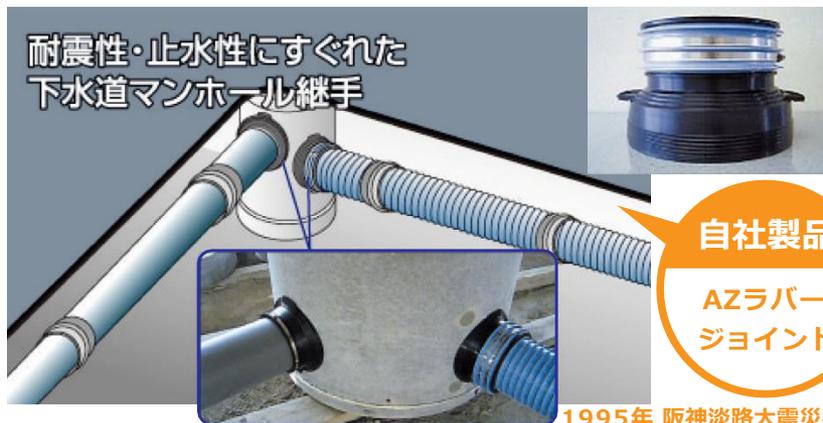


## 吾孺ゴム工業株式会社

(2016年3月子会社化)

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。

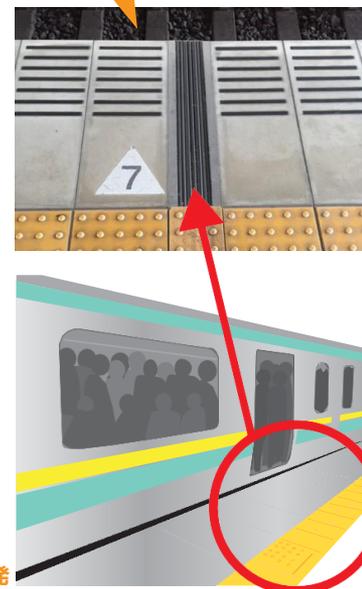
耐震性・止水性にすぐれた  
下水道マンホール継手



1995年 阪神淡路大震災後に開発

優れた耐震性と  
止水性!

エキスパンションシール



様々な分野で用いられ、安定した事業基盤・収益力を有する!

# 日創エンジニアリング株式会社

(2016年4月設立)

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「材工一括受注」体制を構築。



太陽電池アレイ支持架台(設計、調達、設置工事、電気工事)



耐火／不燃断熱パネル(設計、調達、設置工事、内装仕上げ)



金属加工事業との材工一括受注体制による  
営業提案力の向上を実現！

お問い合わせ先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2825

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

[ir@kakou-nisso.co.jp](mailto:ir@kakou-nisso.co.jp)

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。